

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 1月 27日

【評価実施概要】

事業所番号	0170201792		
法人名	株式会社 じょうてつケアサービス		
事業所名	グループホーム 菜の花 東苗穂館		
所在地	札幌市東区東苗穂8条2丁目13番10号 (電 話) 011-792-2670		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年1月16日	評価確定日	平成21年3月16日

【情報提供票より】 (21年1月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 3月 20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 17人 非常勤 0人 常勤換算15.2人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	3階建ての 1～2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	63,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費 13,000円	
			暖房費(11～3月) 6,000円	
敷 金	有(126,000 円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,300 円			

(4) 利用者の概要 (1月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名		
要介護3	6 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.7 歳	最低	70 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団豊生会東苗穂病院 永山ファミリー歯科病院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営者の求める利用者本位の暮らしのあり方、利用者一人ひとりの状態に応じて、出きることはしていただく、自立支援を意識した支援が行なわれています。床面はフロアクッション、広いリビングと廊下が続ぎ、開放感あふれるホームであります。一人ひとりの気持ちを大切に、穏やかで笑顔のある生活、住み慣れた地域とともに助け合う、地域での生活が支援できるケア理念を持って日々取り組まれています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 運営推進会議、家族などへの報告は徐々に取り組まれています。今後も幅広い人選、家族全員に案内をするなど工夫をし、夜間想定避難訓練も予定されていますが、地域住民の協力をいただいた取り組みを期待します。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) ユニット毎に職員全員で自己評価に取り組み、管理者が纏め上げています。この機会を職員の気づき、改善に向けた取り組みに繋げていただきたい。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 2ヵ月に1回の会議が開催され、状況報告、ホームでの検討事項など、今後に向けた取り組み、改善点などが話し合わせ、近隣の方々などが関わった避難訓練も予定されている。今後も定期的な取り組みを継続し、サービスの質の向上に繋がるよう期待します。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 利用者の充実した生活の場作りに向け、家族会からの要望や家族の意見が運営に反映されるようなホーム側の発信を期待します。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	買物や散歩、地域行事参加などで、地域交流はされておりますが、地域の一員として、当たり前の相互交流が図れる行事などの取り組みを今後期待します。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自のケア理念と、ゆったりとした自由な暮らし、地域とのふれ合いを大切にしながら、自分らしく喜び、誇りの持てる安らぎある生活を目指す、ホーム理念が作られています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内にケア理念とホーム理念を掲示しております。常に身近に実践するために、ネームプレートの裏面にも記載しており、確認をしながら支援が行なわれ、朝の申し送り時などに理念の共有がなされています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内福祉交流会への参加、商店街での買物、町内の防災訓練への参加をはじめ、老人クラブから道具を借りたり、レクリエーションを一緒に行なったりと交流親睦が深まっています。又町内の方々の慰問があり交流が図られています。	○	地域の協力をいただいた夏祭りなど、ほかのホームとの連携も図りながら、今後の取り組みを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を職員全員で取り組み、管理者がまとめ、スタッフで再確認して作り上げています。		

札幌市東区 グループホーム 菜の花東苗穂館

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヵ月に1回行なわれ、日常の状況報告や、ホームでの検討事項など、今後に向けた取り組み、改善点などについて話し合われ、サービスの向上に活かしています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	札幌市主催の管理者会議に出席したり、地域包括センターや介護保険課に書類提出時など、機会を捉えて連携が図られています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月「菜の花新聞」をユニット毎発行し、金銭出納簿の出・入金内容と一緒にコメントを添えて郵送され、家族の来訪時には生活の様子や心身の状況を報告、病院受診結果などは電話連絡をしている。来訪の少ない家族には随時電話で報告がなされています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会が開催され、意見がホームの運営に反映され、アンケートなどのボックスが設置されるなど、意見や要望を機会を捉えて気軽に話し合える関係作りが出来ている。苦情なども対応体制が出来ています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動などやむを得ない時には、利用者について十分な引継ぎを行ない、新入職員との馴染みの関係作りとスタッフ全員で、ケアの一貫性と影響緩和の取り組みが行なわれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護事業部長によるスタッフ研修、新人研修、認知症介護などの内部研修が行なわれ、外部研修にも可能な限り参加出来るよう取り組まれています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	区の運営会議に出席したり、ほかのグループホーム管理者、職員の交流もありますが、更なる相互訪問、行事などを通じた、質の向上に向けた取り組みを期待します。	○	グループホーム間の行事の取り組みが企画されているとのこと、相互交流を通じてサービス向上に向け、実現を期待します。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームの見学や、レクリエーションへの参加、体験入居など、馴染みの関係作りを築きながら、職員も自宅訪問をして利用者の生活状況などを確認し、家族とも相談をして本格的利用開始の調整が行なわれています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者との生活場面の共有の中で喜怒哀楽に関心を寄せ、支え合う気持ちを大切に、敬う心を持ちながら、お互いに安心の出来る関係を作り、一人ひとりの状況に合わせ、ともに過ごせる時間が出来ています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いや、希望に添いながら、センター方式の活用や、気づきを記録に残し、日々の係わりの中で声かけにより把握している。意思の疎通が困難場合は家族に相談しながら、日々の様子を見ながら、思いや意向の把握に努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	1 ヶ月に1回のカンファレンスが開催され、アセスメント、モニタリングが行なわれ、利用者、家族の意見を取り入れた利用者本位の介護計画が作られています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3 ヶ月毎に評価、見直しが行なわれ、利用者の状況変化に合わせた見直しがなされています。心身、退院時など状況変化がある時は、状態に応じたケアプランが作成されています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院受診、送迎、買物、外出支援、レクリエーションなど、柔軟な支援がなされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医による2週間毎の往診、週1回訪問看護師の健康管理の支援がなされ、又、協力医の24時間対応の連携がなされ、適切な医療が受けられる体制が出来ています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居契約時に、看取り介護について説明があり、重度化に係わる指針を明記して同意をいただいている。利用者や家族の意向確認を行ないながら、担当医と話し合い支援の共有がなされています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりを尊重し、自然なさりげない対応がなされており、職員のプライバシーを尊重した姿勢が見られます。記録なども記載方法に留意がなされています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、日々のゆったりとした暮らしの中で、個別性の気づきを感じながら、利用者の意向に沿った支援がなされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士がバランスの取れた献立を立てている。利用者と話し合いながら、出来ることを一緒にしながら、味見をしていただいたり、洗い物 茶碗拭きなど一緒に準備や、後かたづけなどの能力に合わせた支援が行なわれています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回以上、ゆったりとした入浴の支援がなされ、季節の湯、温泉巡りを楽しみながらの対応がなされています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりが、役割を持って掃除に参加、出来る範囲で洗濯干し・たたみ、盛り付け、調理などを一緒に行ない、買物、畑、散歩、外出、外食など希望に沿った支援がなされています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外に出て日光浴を行なうようにしており、畑の見回り収穫、近隣の庭の花を見に行ったり、買物、町内の行事などの同行支援が行なわれています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ、19時～翌朝7時30分まで、防犯のため施錠している。日中は表情、サイン、行動観察などで見守りに配慮がされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練、防災マニュアルに沿った日中、夜間を想定した訓練、避難場所、方法は理解されているようですが、運営推進会議を通して連絡網が渡されており、近隣の方々の協力もいただけるようになっている。	○	消防署、地域住民の協力をいただき、昼夜、季節を問わない災害時などの防災訓練を期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算された食事を基本に、食事量の少ない方には好物を食べていただいたり、食事に制限のある方には食事指導を受けたり、水分摂取量は、毎日チェック表に記録され、一人ひとりに合わせた支援がなされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングにはソファ、畳の間があり、利用者が団欒をしたり、横になる所もあります。一人で過ごす場所も確保され、季節の飾り付け、観葉植物の配置など、利用者本位の工夫がなされています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真や馴染みのベットやタンスが持ち込まれ、趣味の物など、居心地の良い空間作りがされています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。